

車を下りて、ちょこっとね！
楽しくめぐる小さな旅。
美味しいぐ〜るめや
“わくわく”に遭遇するかも？

とねっ？とねっ！
めぐる3map

もう、何も無い！
なんて、言わせない〜っ

とねっ？とねっ！
めぐる3map

MAPのみどころ

急上昇ワード

↗ 無双の暴れん坊 ねねこっぱ

↗ セミのおしり

↗ 柳田國男 第二の故郷

利根町の
とっておき
66

とねっ？とねっ！
めぐる3map

セミのおしりは○○○○○？！
昔、地元の先輩が言っていた。セミのおしりは食べられると。上手な人が食べると、セミは自分のおしりが食べられたことに気付かず飛んで行くらしい。アブラゼミよりもツクツクボウシの方が美味いとか…
この夏、利根町からセミが消える？！良い子は真似しないでね（笑）

大昔は島だった？
戸田井橋の小文間側から見る、羽根野台・早尾台の台地。
ここだけぽっかり浮いているように見えるけど…
あなたにはどう見える？

03 わんわんパラダイス！
令和4年に上曽根運動公園の隣に新設された町営のドッグラン。
利根川と小貝川の合流地点を見ながら、わんちゃんもリフレッシュ！

04 年に数回がチャンス！
ダイヤモンド富士
とっておきのフオトスポット、教えちゃいます！
①羽根野台の墓の近く
②押付本田のテニスコート近くの土手
③大平野生植物園の頂上？
④役場5階の窓

05 天気が良ければ
いつでも見える！
町内各所でいつでも冠雪の富士山が拝めるなんて。贅沢じゃない？

06 とっておきの散歩コース
立木円明寺の北側の山の中には、文間城（岩井城）。戦国時代の土塁の城で、今はボランティアの方々が、清掃しながら守ってくれています。

07 鉄塔マニアが
狂喜乱舞？！
送電鉄塔印旛線は、新東京変電所から新佐原変電所までを結び、電圧50万ボルトの超高圧送電鉄塔。千葉ニュータウン近くの新東京変電所から北上して、我孫子市から利根川を渡り、利根町を西から東へ横断している。
50万ボルト級の超高圧送電鉄塔は、その大きさも鉄塔界では最大級。幾何学的な人工建造物と利根町の豊かな自然風景が、逆になんとも言えない雄大な雰囲気を作り上げている。
撮影には初夏の「水田×鉄塔」や「夕暮れ×鉄塔」がGOOD！
【東京電力パワーグリッド（株）送電鉄塔 印旛線】
※鉄塔撮影の際は個人の敷地には入らないよう、また、通行車両等にご注意ください！

08 これは希少！
利根町独自品種の古代ハス
池一面に広がる古代ハスは圧巻！木道を歩いてゆっくり鑑賞できるよ。毎年夏が楽しみ！（見頃：6月下旬～7月上旬）
【観水公園】
利根町中谷 1628
あ、「君の名は。」の鳥居のモチーフにもなったんだよ！
お守りや御朱印帳が買えるやうの
蚊網神社（奥の宮）

09 誰もが懐かしさを感じる清流
惣新田付近の、橋上から見る新利根川の風景。川沿いに植えられた花や木立の雰囲気がステキ！夕焼けの時間帯はより一層”beautiful”

10 田んぼに映る空がステキ！
利根町の半分は田んぼって知ってた？田植え直前・直後の田んぼは、一面鏡のよう。天気が良くて雲がある日はシャッターチャンス！都会の人にもぜひ見て欲しいなあ〜。

11 利根町のスカイツリー？！
土手沿いを走っている時、栄橋を渡る時、町の高台にあるこの給水塔が自然と目に入る。おでかけ帰りにこれを見ると「ああ、地元に戻ってきたなあ」って安心する。（えっ俺だけ…？）
実は早尾台にあるの知ってた？

12 三途の川沿い祭？！
利根川沿いの彼岸花の群生。視界一面に広がるレッドカーペットに、ねねこ河童もうっとりや

13 部活帰りの空
利根中の帰り道。部活が終わって帰るときに見る空がめっちゃきれい！最近はずっぴり色！（令和4年11月時点）

14 都内では、無理でしょ？
きれいな芝生で、コロナ禍でも賢いならずたくさん遊べました。お花見スポットとしてもおススメ。
【風の公園】
●生涯学習センター
●利根町歴史民俗資料館

15 栄橋から望む
利根川に空が映る景色
利根川という大きな鏡に映った空は、日によっていろんな表情を見せてくれます。
夕焼けは、なんとも幻想的！

16 まるで、桜の中の私…
全長850m、180本の桜が咲き誇る利根町唯一の名所！
桜の枝の間から差し込む光がなんともファンタジーな空間を演出。カップルで手を繋いで歩くとき幸せになれる（かも？）
【利根川桜づつみ】

17 2つも見て
お得♡
利根川の土手に、実は、富士山とスカイツリーが両方見えるポイントが。写真映えも2倍！

18 あ、サビ具合が
たまらない
何年もの間放置されている、牛乳トラックの荷台。
誰がここに置いたのか、なんのために置いたのか…そんなことを考えると、眠れなくなる。

19 会えたらラッキー！
野生動物王国？！
年中通して、色々な鳥や動物がいる。
私は、白鳥、ホトトギス、カッコウ、キジ、ウグイス、トンビ、うさぎを見た！
【利根緑地運動公園】

20 ハッピーロード
利根川土手はウォーキングにぴったり！
季節によって違う景色を見ることができる。

21 サイクリングにも
うってつけ！
利根川沿いからひよいと入った農道。新利根川沿いに植えられた花や木立の雰囲気が素敵！夕焼けの時間帯に走れば、ロマンチックがとまらない♡

22 若草大橋から見る
日の出
特に元日・見事に上がる初日の出を拝みながら「今年もいいことがありますように！」
※歩行者は通行無料

妖怪伝説！
信じるか信じないかはあなた次第
むかし、利根川に「ねねこ」という安かっぱが生息していた。
ねねこは大利根の流域を転々としていたが、最後は利根町の加納（現・加納新田）に棲みついた。関八州の元締めでありながら、安だてらに無双の暴れん坊の悪名をひびかせ、いけすの魚を盗んだり、民の中につないだ馬を水に引き込んだり、水浴びをしている子どもの尻の子を抜いたり、きゅうり畑を荒らすなど、たいへんな安かっぱで、九州の元締め・九千坊かっぱも太刀打ちできないほどの悪だった。
そんなねねこは、一度だけ失敗をした。
ある日、侍が川原で鎮い馬を遊ばせていた時のこと。ねねこはいつも通り、馬の尾に腕をからませ、水の中に引き込もうとしたが、異変に気付いた侍がねねこの首筋をむんずと掴み、ねじ伏せでしまった。ねねこはついに、侍を丸め、切り傷の妙薬の秘法を伝授して水中に逃げた。その後は悪事の足を洗って、加納屋敷の祠におさまったという。
（山田書院版『傳説と奇談第14集』より）
※諸説あり

裏面にはグルメ情報も、いっっぱい！
隅々まで、よくチェックしないとねっ！

※このMAPは、2022年11月3日の利根町地場産業フェスティバルの会場にて、当未来ラボースに寄せられた皆さんのアンケートをもとに作成しています。飲食店情報や掲載内容に変更がある場合がございますので予めご了承ください。